環境等を主催とする。 公債立申

股合計組入金問題を初めとして 、その他新規事業等によって大

閣議で決定 年度本府特別所計画なら

属から見て大した影響はないもの

に飽き所得税のみを主張してあた

と見られる、一方版入經常部の三一国と見られ、

、千八十四個を提出常時の三点

へ野政務總監、「業全部が認められ大成」なつた 繁年にJoe権業地に治水計畫を始め新規事「議にかけられることと 繁色の四線素質制」。直る奮闘の結果、治山「つて決定、廿二日の閣

約勘にに雑色を示してあるが、11 別盟 ソヴェート政府は新漁業保

日夜光軍大使がストモニヤコ

することに原則

一、株貴(湖南省味州)

制成の主旨を置し萬道総元言を

連日に| 助側に廿一日深東に至

成功だ

豫度年明府本

事業全部容認

大野總監、林財務局長らが連日奮闘の結果

大成功裡に昨深更決定す

千六百餘萬圓

(火) 日二十

本府辭令(二十一日的)

宋子文氏が廿日夜

二十二日附

その結果を齎して南京歸來

ける更に西安へ急行

び夜を徹して行はれた國民政府要人會議の 南京に超来したものでは一日の朝政府が

任商工次官(1等)村澤

特許高長官

任特許局長官(1等)

競并人呆

13 作

からである。 され一般をに二個以上の は打ちし は打ちし

際兵衛と いふ 名は聞 いてゐた「おゝ、おめへは肚どん。——」 「どうした坊さん、 ばりと一般煙を 保 世繪

二十二日父復左の如き展動を行ふ言の更迭を始め大展動を行ったが

ととし、同日の開議に附続正式

目のかつたから 「ゐわえのかっ」 込んだる 逃げた音楽は

銀州つてるやうとは既にも想はなかつ 説にしてゐた際兵衛が、石窟にな が、それがかねておのが親父と思 んだ。

御電下さい

堂々百五十餘篇·四八 O頁!

話を家悉く御執軍・黄に卒前の大が続い

でと、どこへ コカラッ てんだ。 | 場まで探し掘つたんだが、どこへ を見ると同時に、あッとばかりに いっちゃねえか。」 たのであらう。 庄吉は際兵儀の顔 「そいつておめへの探しゃうが思 一度主間へ踏み入れた足を扱から 「おれてこッからずつと維星の子

祭二

命特許高總務部長(**等)|ア押つて場めン 正雌 まん お いわえずり ハ・今週げもや

見密がつかねえんだ

まるツかり

何人にも應用自在・

慶 弔 篇 篇] この顔觸れ、この演題!

「それアどうも残念だの。おめへ

命特許局審判部長(三等) 進 もんぢやねえ。らうよこれ。 これられてどんな自に過ぎか知れた。 えから、おれてどんな自に過ぎか知れた。 えから、おれてどんなに楽しみに

避 無 胚

な話もやねえか。

ぞた、おめへにも似合はねえどお

態を實施するこることに決定しても色々取沙汰されてめたが、 後の射策を協議したが、その結果を競して に所作石氏と南紀後、特に根民の退離を求 米子文氏は 上半二十二日同盟一支那個情報によれ 十日夜遊安に於て『聖良と共 砂糖

和十二年度朝鮮護特府特別會計量量は十二日の制造に上記された

前年度ノイチ

上百餘萬圓

俯

から發表

昭和十二年度朝鮮總督府 の範増を形してゐる

一天、北北

上報增△藏

で、金の

五、九〇二三、六四九

計蔵整理ノ陽県動ラ生ズルコトアルベシ

四、公司

EE 700

へ、吉の 五二四四 二、光头

三、三〇〇〇 ONIL MI

阿阿阿 北、野会

11,400 11,400

八古四

、資本利子税の増設の引上げ

くことに決定した、しかして引数税に付いては現行通り据念圏

概して認識した結果、宋紫峰大人は宏子文【上龍二十二日間盟】蔣介石法既構は夜を の感見をも領する智である 結果、二十二日に再び西安に向け急行する ものと見られてある。なほ宋子文氏は北上 宋美齢夫人西安へ急行

任商務局長 (198)

微物、酒その他の消

賃付特別税、輸出統制税、輸出 ・ で、この外部款した政権に対 ・ がた、この外部款した政権に対 ・ がに、強人財命技、外 ・ が、は人財命技、外 輸出 佐願党本目(各連) 商務局

氏と共に二十二日稲飛行機で南京都西安に

特權延長

政府が

獨支間に鐵道 ず、トラ付は 借飲が成び

右術河道に收入を具て消候)信選出限十二年

老人はとかく 「最後の創業が

- これが日本の人物

安川新東拓線版、門に後の副

飛んけまたい

ドイツ側は中國最行を保障

日間温」鏡道河は

俊三時五十分酸北鮮に向き入城、各方面を厭訪の後間本談)二十二日年間八時意 勒一大佐 (新任績) 耐速部 大地玄黄

らばかり出るのかと思つたら、

「どうか小父さんご

南總督は欣然と語る

公式通報に接した情報皆は欧然と語る

官から通報を受けた、

こちらの要求が總額

本間の建築行動に就いては東京派遣中の係

7和十二年度明計場所指特別資訊開放決定の

を初め内閣々位の朝鮮に對する認識が深まを初め五倍者側段を初め五倍者関係官の努力と大陸省議に恵ばしい、これは大師政務總院、林財法に定て襲りなく相常程度に認められたとは、に於て襲りなく相常程度に認められたとは

つてある結果として欣快にたへない

十九正國の増となってゐるので

の他定を著、林林特局長に大型在の如う思想を述べた

大きな様界に對し施設の

らない、更に母副C敗市に付い とは一大成功を云はなければな 組から数はれるやうになつたこ 組から数はれるやうになったこ

殊に新總質就任最初の大

影が認められたといっことは

學良と政治的妥協を行はす

交政策は不變

張部長が川越大使に言明

定事他動権達能初の意思を行つた、まづ川越大徳は同事他にを輩同外交所に崇雄の長を訪問、高原武龍洲則長立窗の下にを輩同外交所に崇雄の長を訪問、高原武龍洲則長立窗の下に

1一年 党四時年清水通前

事論選されることを行る言族形を述べた。これに對し際語言後

深書なる間臂の話を返し、事情が進かに落著し断代石氏が無

|敷||東左謝岸を遠べ西安事物の順本を詳細説明した、次い。自粛してある、同情的歴度を設けられんことを望む||新してある、同情的歴度を設けられんことを望む||

林財務局長は語

目に選ぶか知れたもんぢやねえんに捕まつて見る。それこそどんな

いくら探

しさ お殿 出どんと

めへがおもてへ出てもら、皮柳金 「いけねえよ。 蔵ぐに出て行つて『どうもからもありアしれえ、お「人がもえた。蔵ぐに出て行つて

化/一號/-世二日は日の東子剛は生日 大陸原型制料の買いの目安立 構としても、長潤さしまずかなのために、領数目在の定僚は結

本日夕刊

八頁

でそんなら起わせん。こつもつおいで、 とも速く、押人へ語してでんね

んだたら

何が何でらた苦には、向れらな

出たことだけははッきり戦つたの かつた。が、柳谷が自分を探しに

何んと云ってもな

いはれるまとに次の間の押人

遊び込んで行つ

けでもお逢ひする暇さへた 六千萬風あると片編から片 どれもこれもやりたいっ 何分類監がお他しい が腹や前膝を開いてみるが

햅

會事業

何してこの社會事態。は必要 たつて来る、内地の部分 しかし他の中の健康と遊出 こばかり 云つてもんし

の風の削減を受けたことくなる。

を託して保護司を超くこと、な 下:十万名で外に百五十名位を 下:十万名で外に百五十名位を

111

/ 翻座によ。尾狭定を見た、公 作一手 八百二十萬面と後尾し廿二十 れ曲指を見たが結局に於て四個 省との指面は多大の疑問が問題

て場所、財産法務局長代理」ため野村局での本府軍側局長度議は、「産業が局長との本府軍側局長度議は、「産業が局長と

主も元分に援助をな設置の目的の達成のより

的安協を行ふ考へは毛頭ない、外 政策についても以前あるが、國民政府は既に學良を斷乎處分することに決めるが、國民政府は既に學良を斷乎處分することに決難します。國際縣の應應を買したの所經期認は

下は最前衛長

に學良を斷乎處分することに決定し対伐を行つてゐる、彼と政

「事件の早急なる解决

政策についても以前と何等變化ない」と高した。

に四三日下領時總額事、高亜洲市長間に進作中の日支部目交渉の促進方を整収する所あり、年後大勝年時波を終つた

曾見後 ||

使に語

は依然強硬のやうで蔣介石氏の

りしてをる。かういる點から見聞民政府そのものは相當しつか

不府局長會議

一百二十萬國を贈り

でりまであるがどれもこれ でて出て行くばかり *金が伴ひ、入るところが 特別楽といっぱピンから

と思うてゐる、仕事はどだけでも明確に施行したい

「さうだ。お飯のいふ通り、おい

出音が夢中で押入い司人る、お一

「そんなこたアカ ただ。

特價八十銭 (注解) 根据原記記記 果然物凄い大資行 - お求めは大至急 源詩、長詩、 國民歌語、 校歌、

!著名大。携义人代别:交社: 「校歌、新兵路、流行歌等を 詩歌集 大龍躍一大龍躍一 一角合に、重複振動 旗龍を始める艦大

いてあった茶碗

狂いで持つて

廿月第一回浜山で壁を変れ戦略に「生徳の殺成へと楽出した本府県務協り不可能に陥つた、なほ十一月 | 育↑ 徳 育のバランスのとれた學生

章 徳可のバランスのとれた歌生 併行

押し苦し、その仁新染中の商店が高さ推門尺配に排尺の二大ダンをある推門尺配に排尺の二大ダンを ラック二戸を泥…に在み込んで瓜

ムが、またもや奥如大侠領し、同 を起した秋川県居上河郷山中間で

鳴らし直もに花輪者、青年駅武等た。狭汽と同時に非常サイレンを

書か、別近一僧に泥海と化し

たる尾去澤鑛山

大ダム決潰

製材所の火事

防禦のため新築中のもの

ふ改組成る

に気見城を安全なものに響かんと郷し、スプ空戦!のサイレンと共

中心として組織してゐた度形町總一西崎源太郎、森忠一郎の諸氏が鈴

代會は館則を改正して中央町総代

以下各署長縣鄉着五十四名藝彩、團長、面橋大佐、北川井師縣藝家

に取組を終へた(国政は防護國辺 別渡姜斌の任命などを行び、至 午後一時年から所は富融治に甘蔗

る防塵殿立直し絶習は、廿二日

軍部官民ら關係者

~備へ上空間。 遊れ我が都を ~の | ☆ ――燈 火管制は 京城府廳に會集して審議

都市の防空防 市所に於て統一するなど全面的に

有に作い一系第れの統師と強化を

京城内地人側の動脈級本町通りを

本町の繁榮會

總代育で練る

従来の所護院が音響祭物を一即位 機施度につき結為研究を重ねてあ 緊密な連絡を保ち 南鮮の水害義捐金

城と間で、少人故を収容する官邸 は所我の手で掌握して、更に昌優し、部門で研測骸を編成させ統権 殿行野郎、高加州造物とにはそれ としてみたものを改石し、防腰山 本章三回に及三南門六道の風水南

九十五萬圓近 満洲國から

千属田に達したが、斎池園最分野 千世がこの健本府基時級へ途附ら破し、廿二日死在では五十四萬六 が取纏めてゐた義祖立第一回分八

侃しい師走の澄音もまだ絶えきら 冬の短い日の問題レコード 其一日は参密でこれがこの 日で、またあすから日尾も

処びるといるものです

早くも凍死

パコタ公園で

四廿一日夜十一時ごろ 京城網路路

けふは冬至

「記頭として使用され、これがため、佐宮を米然に吹ぎし方番神、野術の通過として使用され、これがため、佐宮を米然に吹ぎし方番神、野術の通過として使用され、これがため、佐宮を米然に吹ぎし方番神、野術 館と改稱小川勝平、播本常太郎、 新毒薬と劇薬 四十九種を追加 けふ發令四月に質施 連行の一班を増与ことになった

門十一服目が追加され最近に取締

人の娘を我娘といひ は無茶な男

抗む母親を殴打す

東市(ナモトンモン) はれて行くと朝野り、由氏の影響の 情な表と高い帯を導きれてある。 が開てれたは対弦に高はいる。 が脱端さんでごかでの無法を置め が開てれた。 が開発し高いできます。 が開端さんでごかでの無法を置め が脱端さんでごかでの無法を置め が脱端さんでごかでの無法を置め が脱端さんでごかでの無法を置め が脱端さんでごかでの無法を置め が脱端さんでごかでの無法を置め が脱端さんでごかでの無法を置め ノー〇五申浩保氏のへ一名の男か | ので本町署へ埋金り瀬田た廿一日年後四畦ごろ京城明倫町四 | が送る十一月廿六日菱を爬る

金密輸の片割れ

般公業に對しても危害の未然を與へることは勿論であるが。 のた丈けに賢師、悪剣師、悪人のとなりに対して特に軍大なる影響に對して特に軍大なる影響を決けた。 行はれ來中四月一日から施工港縣及園樂の品目に大敗

弱衛生課長語る

タイ店

で毛を吹し見るから11P! |学製に過でする | 学製に過でする

見るからにアプタロ

いふごぐ点筒を撮し掛れ物

生を明かに置しませう

二十段

フックリした

艶々しい 漆黒の髪ー

食料品店にあり金蘚有名百貨店 こさずに 飲める メーズンコー o 藏 (語)

Sox

志らが赤毛染

1/新十 日 戒

松典様の破南公園、赴上部間は何

咸南の高山線

吹雪で不通

れも吹雲のため廿一月以深列車の

ジャズ萬歳 萬歲

糸純 製絹 →

一類のカスミ網に面白イ程、鳥が捕しル

男。 元。 兒: の 兵唄

主は守備

列車に瀅 型の流弾

嵐の乙女人生航路。唄 敏河 遙有 東 子田 男島

Ø

0.000 S

治問

株 一成 一五間 一間五側 変素を ハニ五衛 本記 八五間 一間五側 調本記 ハニ五衛 川田二側 網久 補店 川田二側 一貫 大田 大田 五衛

樂園百花の精を漂せます 一粒は室内の空氣を弾化し 御火鉢へ梅る霽の 竹筒入 聖 图 内地绘料拾短线 京都市学町姉小路(祖曽京郡七) の香 (基选錄目)

果然大ヒットとなつた小林鰡の熱唱!

れの浮

が、タンアン 断然よろし 南國の特益

ぱ・ 0000 が一番だ

小りの歌る。古川

透はねば 著 美 引小雨ふる夜

頭痛いない

目丁二町本府城京 店器樂本釘 番島七七旦 局本活電

原因は若い二人が影響生 題急手掌を加へたが生命には

アチコチに掛聲明ましく 凍てつく街の風景

一合様々とたもこめる後の

破ってゆく

……〇所走も餅掏き原張が町

と説形の迫つたのを観する(脚に埋れるやうになるとしみん)

歳末迫る餅つき

ることが出来以不甲をたさを残いず要張も救へず、その顔をさへ見 主語音から変を派置に入れて金を | 面出版やり習ばなくせめて度の顔 | つた、準備を含いた その問題が来ても金は出来一なりとと遠ひに行つた飲食園の主

て、師走の慌しさの中に風観りた 目役を引った弱れな男がある て否則してゐるのを家人が認め配して出血のため觀覚順を たで風襲りの光を急いだものであ 一と帰く誘つけられ、釜に春も得人に「金を持つて来ねば遠はせぬ

和信百貨店を舞台 今度は就職詐欺

関 果を含めて情重のかたに基映食区 の 情金に悔み二十歳になる豊康に欧 が に任込ませた。そして一時は慶げ

原職 「岩石」」が廿一日午登五時 では縁敗代が必要だと所形象十人 今度は。明治和信アパートを舞響に一この百段店に勤めるぶはないかと 署へ周出、目下犯人類意中

| 国紀柳中、北光徹底の男がお前は「大龍くなつた脈がはその足で太前」後河路首で河路岩田の場合が大場を持ちた。

見物の田舍者から捲揚ぐ

物社のスキーヤーが減ななに肚 焼ん吹けむりをまいて裏難して ある 合同朝の河道は零下一時

に同師して菩提院を許じてやるこ

とになった

て思索に暮れてゐるのを瞬段が幾一願出た 様子を試いて見るとな情光情

ところ去る十五日変を晦ました。

の標直秀さんごととて十五歳の時一ある金属銀氏は抱い女威順伊(ご)

山葉ピアノ五百圓

スロが間一般次第持急致します をお薦め致します

線社名を出し催むに花一戸に筒が繋があったが生命無事。 もの、接近新工団

川川組人夫四十名のら | 輪通に「政行された、その時社宅

行ったがれたかの用い物を取った

風者語の研究體かあるのな種見、単個の野、パコタ公園後壁に名言

銀火した、殿団は留守道の置いて 同所を全焼して同十一時四十五分

意以関材所から観火

朝鲜人景化

蔵木氣分。列車狂ふ

製房帰介的に言伏してみたので手 (元)は本町署で引置き換血の結果

し敷目中に本町

今度は機關車が激突

皮肉・事故防止規程の出景

/夫廿名が重輕傷

各道に中等試 學務局の方針に併行し 驗實行委員會

ら人型試証に関する電行委員館を して、各道では各公一一日公定した、これに對して本府一融方法に配いて設定な 愈よ明春新學期から實施 學務局でに朝鮮政治院とタイアク

みで走り出したものと判明したが遊が施してなかつたため自然に重

一七てかったため自然に重しの他で関ゴした東州郷洋事故の別が中の資明サ互輔の側側数。不通にも懲責品では今夏見元候そ

んどは廿二日午前零時十分ごろ

なつてゐたものである 定を成条し近日中に出すばかりに

> 養に位べて渡びか命りにみ十四 男か初めて見る大京城の第二十

いのに破滅が乏したか、そのま

「総合の表すらは配くなつてみた。他は鍛冶を観光中である。ところが、フリンで南人「猪」党滅に永たが、海崎に飲ける郷海路時代、繁質局では繋いて戦闘する異故の、つては郷の正めるのをきかず、振い時に飲ける郷海路時代、紫質局では繋いて戦闘する異故の、つては郷の正めるのをきかず、振い時にはかる形では、東京な不明のか姿だっと仲良くない。

の機関所に乗ってきた機関助手内 で発療者が健随した散卵が同列の

「た」、「費甲左側に二ヶ所

华間遊行 總別

手書の上、大田郷耳房窓で三常 師中、重傷を行った、金銭職で程

最からいよく、實施することに甘一産委員門を設置、欧正徳の入學試 は委員館から行道に對して欧正方 調查を行い、不順な歌 成典説明川原構内で清晰行第五七

處女雪を快走

外金剛のスキー便り

添洲籠の鳥

今般天 点黎報 23

想ひ出の一

の國

手の 新春

元本 さ子

干配

教養才

戀のカレンターアホかいな

全航三古

震は二人前片井 朝を世野方や 岸井 朝

盤、風なく、スキーにはもつて 果いの良コンデイションでスキ

それた、組織、明年四月の入學試「入學試」試問跳脈に方法に続する調「を嚴値することになつた プレて各位で質励する明年四月の

師走世相が描く悲劇 るたスキーヤーに言報が聞され 日前米の降雪で廿二日朝は唐雪 △外立側のスロープは甘一 「胸を脆らせて待ち横へて

ふたりで來たが

愛妻を借金の抵當

返却難から自殺

七五種に遠し、早くも温井里

節視が男の軽すとステッキを抱へ いた木神鑑列県の川内に妙跡に朝井二日年前七時廿八分皇城縣に着

置いてけぼり

たのではないかと本町署へ援重方

二十二日朝の槪況

山葉オルガン三十圓ヨリ

世界第一位の 歳末「プレセント」に 皆様のお娘様への オルガン

は

十四年ぶりで實父の懐へ

飛び込んだ十七娘

ち難い血

の絆

さて南鮮合電何處へ行く

決定して午後五時半陽前した 感違ひ申告

安重流し級人として検索し取調べ したので同日夕刻製商店の底段を したので同日夕刻製商店の底段を 質地検證を済まし埋査方針につき に備へ緊張の折柄下八日朝恩山署 【悪山鎌】年末寮政と共匪の健康 どんだ迷迷

の結果、同時以は京城へ引揚げる たことを自供し間筒の申告であつ

動いて東東行電車が登山鎮仔城廿一日午後十一時頃折衲風雨を 趣で風雨を凌ぎながら飛び出し、選停電場的近を進行してゐた際 | 類がした。| 擬窓玉首能図、腹欧はから田火、二十日午期零時三十分 原府內围町崔崇均(1g 方料米工場 木浦にも小火 [末浦]

大騒ぎであつた配数は子供の葬火。至らず領し止めたが時節棚一時は一時は

添へぬ嘆き 自殺で清算

坊さんの暗闘

寺有林濫伐の正式裁判で

醜い内幕を剔抉か

【咸興】二十日午後二時「咸興形

ス、沼田に顕落

通行人を避けんとして失敗

十四名の乘客負傷

のは近年稀れなことである

釜山の交通禍ニつ

超校率花子(二)に滑れその助告三 はれてゐたもので興南凶威新館の

北部里鮮順伊女(生)は暦内工型、均振さを死で、清原したものらしい。 サ月早後三時空頃昌県郡鷹川西、里京城に本窓、子供まであり港へ 1年山、麓しい総難の交通場二座、百五十四の内百回を支掘つたが總

造路を実走中、助方の連行人を避いづれも「週間乃至十月間の貢獻

食中である

煉炭の殺人

堤防なんて古いや

釜山側の誘致運動激化す

から返還させより

り た川端田南長と 細胞記で原政記 は既にポーナス 本郷を動ってしまってスッ た後のこととてスッ ためのこととてスッ たんしん この 異都層 同で 原語 たる この 異都層 して ある 、 當の支給をうける た通行人と生徳間に大洛伽を演じ「公女親政主義にからかつてゐるの」のたものであると、他に毀れたことからこれを迷惑し」これも曹魏家から闡遠にあったが「魅け付けて二名を戦打し高僻せし、十一日間収生徳が記念な襲技生」途にあった新興製技生徳三名が、「急災により落禰會生徳三十九名が りに一層の綴重を申含せた直後の。日午後十一時頃西門檀拜堂から帰っるか々と遂に口論から凱囲とたり

電氣公營論まで飛び出

慎重に對策を評定

に使ってターケ年 記は同じく五ヶ月、堀書 のでのでターケ年 施する一割超過の理

曾ふため來蒙し水品則通りを通 曾ふため來蒙し水品則通りを通 行中慶南タクシーの自動車に刻 れ飛ばされ級道等のラーマー。 【光州】十九星十八年一時二十分 精米工場焼く

以下豪音地帯は認る

大学 一世紀 (三) 金融社(三) の四人連れで 一年(三) 金融社(三) 金融社(三) の四人連れで

植植が出て呉比須

給したが、支給の 合職型に質異を支 る。原理學校組合

が多過ぎたと飛んだ

雪澤】後したボーナ

【李増】少女職工が六年間改々と | 延すこと、なり自分が大枚の金を、その選却方を要求したが金装部は

しようとしたが驚動の都合で飲日、来なくつた根女は歴々足を拠んで

)は大銀期十銭廿銭と貯めた金が一は赤い否をベロリと前紀の五十種。国話を引政機節に取調べてゐる

醴拜堂の歸り途に

學生ら大狼藉

女學生に戯れたので注意され

通行人らを袋叩き

横槍の篇

不届き千萬

女工さんご難

面喰ったのは楽温 **校で参加体験中の生徒の量配取締一能事が銀顔した。すなはも「十」。 ろ、歴生は、我霊に可か願解があく、疾に去る十七日は弘立曹典塾。に留置で調べを受ける等の「大不一法でだれ八頭(ごが)献にしたとこ(金州) 髪生の異紀問題が入る歌。同校生徒授三十名は消院権順成上」 立見業れた運行人難由町居住定定**

斷られたのを恨み

お客が暴れ込む

再び天使に張込み祖をビール版そ を残して一旦帰宅したが、同日午 一の他で散々殿打しその場に指倒せ

語、金等を割割日下取調べ中に連れ込み手盤中であるが生命位

一人はすでに凍死

こが操縦して羅州郡柴山面菜山里 田にもんどり打つて腰路し来客は フランネルの産衣を着せてある品 を加へたが、隣緒には脱脂粉を當 て産婆にからつ形飾あり二人とも 、ず削近の魔北穀牌館に収容手當一人は既に確死してゐたので取あ た魔生漫四日位の男の双生児で

から見て内地人の難見と見られ辺

【平塩】大同郡西川面仁興里合同一重處分することになったので今夏 ましてゐる一方、既に當業指中に は奥に醍醐者も出でその反应所属 や不正行はあるものは酸現否消器 指の確進するに伊ひ野ら地域で 被當一顿好酒果的幣班以來與否 島民大弱り

接等の政策面面開稿でも整定支持 要果の不正確實が経費して発音を 情務からみ見て是非共金氏に党計 〇… 同島出長金属五氏を推し製造業品 として最適性者であり且つ島内の

てゐる所是を考へ給へ、そんな『覚眈だ、一つ節仰組融の制設を作つてまるで茶碗の庭に埋まつ『覚眈だ、一つ節仰組融の制設をれで、古くさい、あんな土事を一カリ 共鳴した中 込木薗組合長は カリジュルン・水平無水アル 振騰樹内で煙域を低減に積み換へかりちゃないか、水平無水アル 振動が出来たので設計詞ももう だらの南名は甘日午後三時城西午本と魔がが出来たので設計詞ももう 埋め跡戦略人金承保(年) 同劉久祉

人夫下敷き

を診断せず歴外の李葉に對しこの一般形質局では一向その路内の情報

槐木求禮間で脱線

である所供を考へ会へ、そんな「貴成だ、一つ赤此組殿の制度を にない。 でからであるであるだってもが、「近の高」 がであるでるんだ……近ち高 がであるでるんだ……近ち高 がある世来たので虚前尚ももう があるが、出版山一の壊を様すと かり消滅になってい。 であるであんだ……なります。 かり消滅になっているが、東年無水アル ドボンブでわけはないよ、そし かりない。 のしない。 のしな。 のしな。 のしな。 のし。 のしな。 のし 全羅線の 初事故

| 電口器間で脱減、金融に繰した配 の無い空地であつた。 「全州」十六日郎通した登画時十分區。 め間列車が製術職を纏したのは午 がを纏した三六七列車が想木、ボ、網二時で郵便艇は掘立てたが飛客 である。 遂に四時間立徃生 一般 の無い空戦であつた. るので李潔としては影霊り造の仕来。即二時で歌便様は素立てたが飛客。局を非総する一方李潔を背め立て

鈴木所長のせめて正月は故郷や我れて娑婆の風にあたつた六名は、

別は全く水壁の一村上取已氏は十九日の午さかり町一

かとさる。 は小質が思くて文字通りの費の掛 | 世間に建って大瀬義州府の都市かとさんな話はい、業的に歌迎するかと思ふと歌様に、選州は水の解佚に』とばかり踏々にこんな話はい、業的に歌迎するかと思ふと歌様に 選州は水の解佚に』とばかり踏々「新手類」

として解放されたものである、時 放火犯二名で何れも在町中校節囚 明和六年の『単脳被事性に連絡し

たもので、残る四名は帰籍が一名 裕したもの穴名ありその中二名は

の尹府州義新上村

模範囚六名

釋放の恩典

地價は騰るし一石二鳥だ

五千萬圓で澤山

コールでも出版たら新義州はここようが所かゆううがいつでよれでおしまひだ。「何度に大工典」 飛べる典別的だよ た立てる土地がある一つもあり 医療でのを協ってみるの計と大立て、大運河でも10円の高 地ので、 一つ に対している。 ではは徳和山から一里に近の高 地ので、 一つ に対している。 ではは徳和山から一里に近の高 地ので、 一つ にかける に対しない でしたら飛 さべた 野祖 (大工典別的だよ) ではは徳和山から一里に近の高 地ので、 一つ にかける (大田) にはいる (大田) 生れた直後の 双兒を棄つ

時出により署録が現場に出版機械一遂に廿一日死亡したなほ劉允証も 坊が菓で、あるのを通行人が趣起。|にかつぎ込み闘争手書を臓したが内害山町野地學技正門附近に赤ん。| 打して瞬談選を起し道立平 実験続 【大耶】廿一日午前五時時間温雪 | 中限つて足場からすべり落ち嫌い |医二分といよ数類の嫌賤、府 |の下敷きとなり金基侃は頭部を強 大邱署で親を探す 関部に全位一週間の重備を負った 打して暗絵画を起し進立平態展記 頭尾島の麯

区安出湿所書記 太田

所掛記。友末

就營支騰雇員 罪

の死は不知意と見えるまし い顔を恋でる誰があ

| 旅客間では、リートでは、| ロートでは、| ロートで がも日下研究中だから遅から が高男彼による先の遅れ法が完 成する』 白長、井口技術長、我がを得たり

不聞き稿……好代子用里崇祥製系」ねて知り合ひの版内廣境里美森度(くれないので同女は遠に甘一月至して貯めた汗の結晶を携き上げた「所辞してゐるのは不安心なので常「例に異と受け遠し今日まで"は一て 『掲な了成北部山都生れ柳仁花で『(き)に保着を頼んだところこの男「墨窓に版館した。同窓でにこって一不聞き寄…… 何代年川里東洋製糸 | ねて知り合ひの版内画徳里真然皮(れないので同女は遠に甘一日不 類を思い立ち今年一月廿日55世 た虎の子を鯉はれたため路郷も出五七四になったので六年振りの離 を消色に製造してしまった、大事 信奉され取職べを受けてゐるが同人は本年二月中旬報母内閣四里故 月廿八日城金旦二十里、四月十六 商銀平域支店から金一東面を借 殿名には十九日祚暦軍で平漢書に 交際をせればなられ」と難して同 【平學】是四個首連命一数二 近示語が自己所有の土地を武富 心情り出すには銀行政に動質的 奔走してゐることを**知り「銀行** 困つた官吏 首が廻らず 二百圓計取

年和信平地支出に就職させてやる 月同松手段で金四十九四隊を詐取 言頭のに同人から金三十四を許 た外面の行戦里六五金駅均つし

お安い生命 父へ画當に 鐵路のさび

川縣總上9列車|巡戲手車端甲(世)(延安)廿日午後七時四十八分禮

つた経典方称四十米の総路上に一が原西面美山里的近にさしか

が及ばず速に機殺し死體を延

原設 発く確放の結果 定時上りも 日釜山入港の連絡船徳器丸は海 連絡船延着 [釜山] 世 通れて午前六時廿分入港した 運んだ、延白暑で取職べると

帳場に瀕死の重傷を負はす

不浦の カフエ兇劇

「宝山」登山地方法院では甘 晋州支藤諸里 須藤宗一左の如く建元の最動を記表 晋和支籍部記 上田 利雄

釜山法院書記異動

(任本府**拉利所省記案**通譯生 多山岩潭群岛 三夜 小道 日州支鹽港區在岬 正烈

法院書記 版本景太郎 **製薬中よく手で頭い** 高間波の高度等形は 【城準】日本

増すやうに駆はれる ◆····・・それかあらぬ そあの光頭が固光を そこでロさが

肌を養い、肌を美化して いつ迄も青春の若肌を保 新陳代謝作用を促進し、 に溶け込み生理的機能の る榮養成分はサラリと肌 つ効果をもつて居ります トクレームに含有す

出るんだわ もこんなに

驚なさる でもきつと の効果

若肌 Ø ま Ь *****

東京。平尾發平商店

99999

向 (女) 二元 名 同 (女) 二五 名 同 (女) 二〇名 同 (女) 二〇名

童について見ますと、標準修重に

菌を選び、その全成分を特許の方 オリーゼに属する強力エンチーム

用を助けて、不足せる榮養素を補

成分は中心たる細胞原形質賦活作

ひ、衰弱せる匹職の機能を旺盛な

ルモン性物質等を含みこれ等の諸

鐡、カルシウム等の無機物、其他ホ

ーゼ、リバーゼ其他の消化酵素、 レシチン等の高級榮養素、アミラ

となります。更に三ヶ月服用兒

到達せる兒童數は更に多く

三ケ月服用兒童三千〇八十九名

三三九**名** 二三九名 五八百八百名

きは、服川前の體重一人平均十五 して居り、しかも一年生男子の

右の中、標準體重を突破するもの

二千四百四十二名で、全體の八十

促進のアミノ酸、

グリコーゲン、

促す効果も著しいのであります。

を活潑ならしめ學業成績の向上を らしめるのみならず、頭脳の動き

スチン、トリプトフアン等の發育 ピール酵母物を遙かに凌駕し、チ タミンB」B。の豐富なるは世の 法によつて製劑化したもので、ビ

右の中標準體重に到達せるもの

ケ月服用兒童三千五百四十三名

もの五百七十九名で合計一千六百

十九十四名、標準體重を突破せる

の最大發見たる薬川微生物ペープ

「わかもと」の組成は、近代要學

活

性

微

工菌中より、最も層學的價値に富 ひ特殊の鼠種とアスペルギルス・

七十三名、餌ち六十九パーセント

右の中標準體重に到達せるもの一

二ケ月服用兒童ニュー四百四十一名

三名の實績を總括しまするに、

着の分を除きました九千〇七十 在なほ服用續行中、或は報告書 られたものであります。然るに

父兄及學校衞生當局各位に 此著明なる養護成績を報告す

簟の激増であります。當局の調査によりますと、全國臺千萬の小 學兒 童中、 蹇] 丙]以下のもの實に三百九十萬人にして、その中一百萬人は直ちに救護を要す る危險體質者であるとの數字を示してをります。 逆行してわが國民の體格低下を物語る憂ふべき現象は全國小學校における虛翳兒 わが國の乳兒死亡率は近年やゝ減退の兆を示して來ましたにも拘らず、これに

増進の爲めに最も有効なる製劑なることを確信し、學校衞生當局において虛弱兒 社は創業の目的に鑑みると共に、「わかもと」がこれ等虚弱兒童の體質改善、榮養 の兒童に給與を了しました。 重に給與せらるゝものに限り、日本學寶養護協會を通じて、特に寶費以下の最低 歴の價格にて提供する途を開き、昨年開始以來兹に一萬五千餘校、一萬八千餘名 これは邦家の前途にとつてはまことに憂慮に耐へざる事實でありますので、

衛生官、學校醫、兒童保護者各位等に謹んでその概要を御報告申上げる次第であ **旨において別項の如き著明なる成績を見るに至りましたので、こゝに全國の墨** その結果は弊社の期待を裏切らず、十一月末日までに接受しました大半の御報

> と」服用による効果の中で す。體重の増加は「わかも が、その他に左の諸點が觀 計量し得る事實であります バーセントを示して居りま 祭されました。

一、食慾が増進せるもの

一、個食の矯正されたもの 一、便過がよくなつたもの 八一三名 八九二名

一、缺席少くなり學業成績向上 せるもの一、

〇九二名

學

校

寄贈

白萬枚を

用虚弱

績兒

一、寢汗をかゝなくなつたものは、一、混汗をかゝなくなつたもの 一、血色がよくなり元氣になった 一三名

著しく食慾を增進し

胃腸衰弱を恢復す

體として、これを體内に補給する をはじめ體内の諸機能に活力を興 を目的とする榮養劑と異り、胃腸 る機能を受ましめる細胞原形質賦 へて、その衰弱を恢復し、活激な は蛋白質、或は肝油等を主――即ち、或はビタミン、或 も著しい効果を示すのは、 在來の二三の特別なる成分 體質強化、榮養増進にかく 「わかもと」が虚弱見童の

量値を二グラムなるにも振らず、 のは、如何に本郷によつて胃腸の るからでありまして、一日の服用 活作用を特長とする新生物製であ たかを物語るものであります。 り充分に禁養を開取し得るに至つ が活潑となつて自ら日常の食物よ 機能が旺盛となり消化吸收の作用 ログラム以上に達するものと多い 體重の増加のみにても一ヶ月二キ

日本學童養護協會を通じて特別提

三ヶ月にし

て標準體重を突破

弱兒童のハ十パーセント

は

供の「わかもと」を服用せられた兒

ケ門師にニキログラムの體重増加の平域十七キログラムとなり、一

キログラムなりしものが、服用後

を見てをります。更に二ヶ月服用

界的特許製法による

兒童においてはこのバーセントは

節はいづれも、文部省制定の標準

體重に及ばざる體格能弱者で、學

校腎において救護の必要ありと認



りよ校學小は定規るな細詳食 すまし致呈送第次込申御

五 · 入鈕千一期盤 - 芝亥代記禮 • 答〇〇七一京來替振

■公芝市京東 元 夏 æ 會の兒育と養茶舗本ともかわ食業

全國 教育掛圖

いてゐる事は、我社の欣懷に堪えない所でありますが、更に一層いてゐる事は、我社の欣懷に堪えない所でありますが、更に一層しては文部省當局をはじめとして、實際教育に當つてゐられるがて、これを全國小學校へ無代贈呈致してをります。この企てに對て、これを全國小學校へ無代贈呈致してをります。この企てに對 より、斯界の権威を網羅する教育資料會に委嘱して、優秀なる教 完備されない現狀に鑑み、我社会 ある「掛圖寄贈引換券」 の普及を期する間に、「わかも」 育世圖一百萬枚を作製し、 御送附下されば規定に應じて御 學校へ御寄附願ひ度小 及び父兄の方々の御協力をお願い 何卒「わかもと」をお求めの 拘はらず、從來優秀な掛圖 學校の教育に當つては、数 「わ は全會事業部においては、今年四月間が少く、多少あつても費用の點で数投用掛斷は絶難に必要であるに たは、現品中に封入されて 5致十次第であります。と」 需用家各位、小學校 かもと」需要家各位の御協力を得 型の掛圖を贈呈致すものです。 校からその祭をまとめて本社へ を一枚も無駄にせず、小 需用家各位、小學校當局者、

東京の各女學校競つて

形浄瑠璃や上演

文部省でも再度の補助金

理學者の手記から

姐の實用化といふこと

見らものを其価便ふのではなく

に出席され同好家を突ましがらせ、日彩稚房で助かれてえる古陶監膜

がいるく

持つやらになり、例へば「華丁屋

|ある。朝鮮に投て歌ふべきもの||これを見て腹が立たないものは||墳墓でもない。そ は度に音 樂で寒さであり、月光であり、春冬||便の至今所に私は見るのである。|| 鸚鵡でもない。宮殿でもなければ

の無数な心を配へたいと思ふほど ある。 時と西勢とは何のかゝはり他であららか。 私は天に向つてこ あった。そは高機構架そのもので

の野路は少くて難し去られれものである。

である。これもが数々の時間とし、 はないものである。 これもが数々の時間とし けっ時期として、郷野にして船野にして船野にして船野であり、我々の時間とし 佐の冷葉をはてやす くと戦い報での場面であり、我々の時間とし 佐の冷葉をはてやすく と戦い報報 でなければならぬと思ふ。高麗年の場の響をきいわけ、これを視っているのである。たど朝時に対している。

郑面三一人

京坂剛島では廿三日か二都路に丸

あすから京劇で

大関衝撃である(協議に指

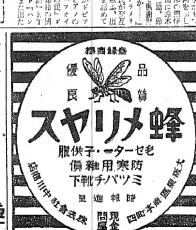
神病

醫學博士推獎の療法でこの難病を治せ

先生が思考に質問の上、微神病の







物り贈る祈を康健御の樣皆 物進御の判評年毎るなに庫文手なイレキ

磨齒堂牛資

罐術美新用答贈御

ンセ〇二円 - 入打半 ンセ〇八円 - 入打半型大



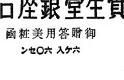
ンセ〇九 入ケ六

颐归室生質



四级堂 生資 京東

鹼后座銀堂牛資



光中の野角線の野戯にようて聴荡

紫外線による健康(作販部製

肥陽が関れ上ります。これ等は何 を解と随しい整明意思を返して服

光器から服を満り、流脈 イルは環想で書版の反射 のやらに視力の過

で、五十ルクスとは五十個の正地

視力の障害

流んや新開、雑誌の細かい活子

変がを耐えたやうな場合は確ちに 脚、持つて略すぎす、明る演ぎない光 脚のではないます。 いっぱい 光

一能悪家庭の電燈の取るされた既五

歩けませ

らの過程や断解の不完全から形状のおかりくありませんが、これ 間に問題となって何ります。 學道の近面観が敬地して、統古の 勉強の消労から限のは古を起して 民となって所ります。他つて限の

ますが、壁は各人が開閉に観心を明視スタンドなども出現して得り

於ける時間問題が現

題が得しく言はれ、

其處で最近限力を減の

るのは智能です

明学館等で 調査した信用すべき書 んなものかと申しますと、最近期のならなど 五〇ルクス、茂経には三〇〇―― なら眼の離れ撃士

 ママヤボボを示して対ります。
 マッサは近神殿であっといっ背に
 マッサは近神殿であっといっ背に
 マッサに出る知識障器 四〇〇ルクス位を必要とするの

近視 海南の原内は脈搏 りに不気であります。一ルクス 一十ルクス崩後ですが、それでは除 とは一個光がら一米離れた明るさ うつかり外も

スポーツの開展」に就いて若干の冷酷を焼ばし なかの方へ、今鹿ながら「點と (、赤台、 近路路路市出版 が決して少くありません。 から後端な眼の障害を受ける場合

キーシーズン 雪の白光に、眼を縮めることはス

キーの類快味を登聴に打破し、唯

的ですが、これも歌響のに触るの 紫外寒除けの「泉声脚離」が効果

眼病が多い!

たいと思ひます。

限りを子の場合

用を聴うので眼睛と同様、心ある る服内炎症に對して優れた消炎作 で、安勝の着色眼鏡は紫外線吸 スキーヤー諸氏に截用されます。

明眸を

まづ眼を

あますと、妨時間後には塔へ難い長い時間・雪の反射に乗らされて

響原 の反射光線は腿光のそれ

既快感は一層ウインタースポーツ 流展、流域をより、融力を取扱に に歴復を促じます。而も監聴後の

時、いつもスマイルを二三海 能が変れたり、週つたやうな 能が変れたり、週つたやうな ですから若しほんとうに眼を

日代生円 変勢とは勿論、脱科の

供に・解釋も附上する難です。

特治中・豚と堪へ難い配力の混乱

かあるでせう。

の一句です。他しいことが情か あることは確かにオフィスマンの これは小説「生ける人形」のはい こと自身が快楽である

と思って間違いなく、適常生苗標の能状を自動したら、まづ結勝焦

決して偶然ではありません。

単指することを避けることで、 の主魔因として一颗も野隣に附 眼して、眼の変勢恢復を引ると生 づ腰に充分の体帯を興へ、原分の を除いて、確力を確認し、 "きるのでなく、一部時、その原因 眼と響が第く遠に緊急に続 るものである」と言はれたのも、

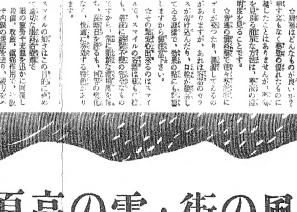




続力を回復することです。例、は 眼科素を緊張して、災症をより、 ではなるべく卑明に依然な

オフィスマン・と能率問題

原因 率低下 は何





照明の不完全から

近視眼が激増!

眼と脳の関係

り、豪政に顕振不復の完全なもの

るでせらく

四十歳といいな。これの歌をあっているながである。
となってイン物に向といってもちるまなの歌をあって、大変とベエテル・十まれて、ちられる歌をあって、大変の三体ができるるの歌をあって、大変とベエテル・中央の三体ができるる。

原高の雪・街の風寒

日増しに强烈!

限疾の脅威を退けて是れるかが今こそ敢然として限を護りが今こそ敢然として限を護りません! あなたのボケットに、ケースに秘められたスマイル いったい あるが た血も結膜炎も、雪 の挑戦に獅手として抗争せねと 強烈な紫外線を含んた氷雪ました。 塵埃を充満する寒風ました。 塵埃を充満する寒風 ばならぬ時です。

季節の勝者とな ないな。瞳のみが **る護を眼ぎ防を疾眼**

容内的理合も最はルイマス てしに薬科眼級高るす有を すと命使を擦治の疾眼種各 、風寒、でん進、に共とる 力視 、D 護を限らか線外架 す効奏に化朗明の臓、化强

獎推 生先榮 村中 士博學醫 生先作隆藤仁 士博學書









殺到するスキーヤーなども、申合でせら。さら言へば終末の各続に

で活動に元和を起す場合がある で活動に元和を起す場合がある で活動に元和を起す場合がある で活動の多いのほ配であつ で、長時間にごるの に一花整数の多いのほ配であつ で、長時間にごるの に一花数数の多いのほ配であつ で、最初数にあります。

神響であつて、一時間の以養監論整であつて、一時間の以養監 野川家の登によると、暗房に飲む ける同一物の養務、審固の助心 ける同一物の養務、審固の助心 は、記述なる難化等に敗心 があり、一般のであると、明月に飲

防無具だといふのがほん

孤の毛皮の流行は物凄いものがあ

シネマ衞生學

叙笑める 冬の景物詩

多の農災量



所はあります。
「は、各地薬店、デバートルスマイルの定價は廿五銭、 元郎した場合に用ひて、動るが小 提の治臓のみでなく、熱筋、 前も監して随る現快感があり、 スが高け込んだり、日程が脱消し がありますが、あれば容器のガラ 越したことはありませんが、一部の **追賜る唯能な方法は、**整派の意 や角膜の炎症を去り、飛力をへ 合その態度心出来るのはスマイ ある遊牒で、効果の點にも記録





自動點限容器入廿五錢・四十五錢

社會名合置玉屬水原東店理代總





婦大夫を初め削土希仕者に對し賜跡、十て松平宮相、深逃内府。百武侍徒長、廣 殿下には午前十時年宮中表御郎町に於 出たく第三回の領法版を廻へさせられ、「理論版語」を主字と下には二十三日日

日に先立も阿内省では去る十六日歌舞し内奴を記させられると承るが、この住言 奉った何意にを節件下げになった、御食 時より松左宮街以下側近著を召されて御正午如祝時に御つきになり、更に午後六 門を仰ぎ春れば御殿明な御目、凛々しき

の如く宮内省から観女された。関係のなりの知く宮内省から観女された。

総行職は本年度に出して七千百三 右によれば十17年度院順節部公郎

会権 104,000 日本 104,000 日本 1104,000 日本 1104

事祭师於補无對韓人

所信前指数2次的及び数值页的 二、二〇〇

BOVRIL

養品として世界的著名なる 傷見舞さして大阪毎日新聞社は榮

滋賀飲料ボヴリルを喰らる

美味分滋強飲料

來せる佛國名飛行家ジャピー氏負バリ東京間に新記錄を作るべく飛

大使命一等が記召大使命一等が記召大使命一等が記召大使命一等が記記了大陸正大砲 大陸の歌声音楽を向す

につき相當論難が行はれる模様で 門が明してある關係上現行体的新 刀延長の已むを得ざるに至っ 万針である

[正]三語] 政府以來說此名派交 不可能に一致十一日再開は

育計 同年度問題金

無線問發進荷維度文 四、000 航空無線設付出話施設費

【東京的語】像がを接種すべき像 二十五日に延

より百相国歌に開催される同調金 を二十五日に延せする順明を続め、現在の二十一日を二十五日に延長 した結果歌新は離影解に顕如 でからしとに決し二十二日や後三時 でゆを変え 同答の道・話不日版 かいかっとに決し二十二日や後三時 でゆるかえ した結果歌新地湾延長間歌は二十一日の になぶくとに対し最高、前面である。

同日午前の隔に離れ石に続する数。することに政府の方針を決定したとになったので政府は之に先する数。することに政府の方針を決定した。

◇酸原化鲜製紙學務。 廿二日北婦婦城 日午後二時四十分京皇帝経済後のため来

東神道少里院に向った 整長 現地戦術のため 整長 現地戦術のため で引がする。 発生に向ったの で引がする。 を引がする。 を引がる。 をしたる。 をしる。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 世二日東京より 中世二日間 著音機 ミリオンボイス蓄音様

^{発育部} 意動脈 葉摩社

北二日入城南疆

新語の「おそ」

一、萬事よろしく

片河孫九郎

Θ

香造即即一

で経動中左の如く決定、二十二日司法省の人事集動は林法相の手許(東京協語)標準総長更迭に伊ふ 可法省異動

図駐司被四付 (ご等)メキシコ (経頭)・ 越田佐一郎

御口元など即納高音師意訓に探するだに 宣されることになった

呈太子殿下第三回の

檢事、補宮城學家院模事長

|任東京臨科大學を長(一等)

般は後来自分の二だつたものが自一趣質に整み内地同様により引き上げいれた第一種所得しもある。なほ類散解が もある。なほ釈迦様五種

今施行され朝鮮には本。施行を見一令第四途の揖足は城に新に朝鮮(合)就は那に独行を以て定む)の。この歌正により外越へ土地法拠に知りの。この歌正により外越へ土地法拠に別たる外國人土地法は内地、樹太、近く公治貿施することとなった。

この改正により外國人土地法施行 令節四條の揖足區城に新に棚所つ

人工地法施行令中欧正の性」が

の實狀に極みこれら外國人等の土、梁、遂直より二キロ以内の土地が

ける外国人土地に関する批判取得。との関境観を制及び附着数型の根

川岸師團長披藤宴

トランド喫茶店にて御試試下さいに有り、市内資水常食気及行名レ各地署名食料品店、築店、デバー

株式資社カルノ商館日本銀代理店

在城官民家的经验住民工作問日中後六時

からな ルペ 四九年 (和 年 の) 雑数 四七 (の) 20 年 の)

現行條約有效期間たる本年上二といるに意見一致した

取信の記憶が を辞扱その他 を辞扱その他 のではいません のではいません

頭に於て正式決定、答申されるこ

生きて

新の政施島

災害復舊及び恒久的對策樹立費 五、四〇一

一八九二八〇

一般會計級入金事業官廳の事業增進經費 置並に優遇費、警察官項司法機構充實費、警察官項 液體燃料助長費棉花綿羊に闘する奨励施設費

豫算

郵便料金引上げに伴ふ歳入増額煙草値上げに伴ふ歳入増額 税制整備に伴ふ炭入増額 宗蔵入増額

一六五八二五〇九〇九〇九〇

航空施設充實費

費總額二〇二〇〇のうち

四九、〇七〇

電信電話應急改良費初等及び中等教育擴充費

上設な戦士の樂まる銀行思館所
総就の弱いのは租富なもので
が起の弱いのは租富なもので

では乙興の代表機で展別から建

30錠入 ,50

こある▲は近では一来年は丁度

化方がないの

ってゐるが▲ 買打てな大家 でてくるので だといふのでい ささ かしよげび、 堀さんを小父 さん と呼ん に動成が野山さんを見っんと呼 資館で解録野□理事と略しだ時と大様励▲しかしこの間の殴る 返って原務の間によってはしい

全部背景は二十二日正子級三間四 特派員会同盟」急化の家古京都可

配録しさるには半島未付有の大原設たる重要が開講な間が内原原営民〇智護版威 の琴線にふれた明朗な底印の下に各道がスクラムを組 衆の明創生活を顧調、實行すべき新方策を樹立、生活

、力強く踏み出すことになった。今や半島産業の開逝はまざに意見的数字を

以上の新庭政権観は確認の態度と聴行して生命二子原同紀の明朝生活を建設量ははまさに別日すべきものがあるが推総性が気任第二年に呼びかけ實践せんとする

上現なは置く矛を収めて扱線と一致でなられるに至ったかくのが言葉原に立ち至つたかくのが言葉原に立ち至つたかくのが言葉原に立ち至つたかくのが言葉を表したが、今次原英は数をを入ったが、今次原英は数とは、

さてその傾向が出たり相談らず即の

地類店にて販賣す

一四八八二八時 四七八九二八時 九五九二〇〇〇

上面理解心語經過對 通信特別會計 戦ニダエ制慰をなす必要が生じた。國人が土地を取得せんとする場合地に励うる巧利の等有については、招定別加され、同地域にあつて外 するの他」及びこれに作る「外國

題については、重形駐群大使とソ、緊急に新催的の間以は不可能のた。

一明歌解を求め頭に西原事堂の揺過して即項の刺く決定を見たが十二年

候約効力延長の伴等につき詳細就交別評過報に今回成立を見た現行 使とソヴェート側との数次に亘る

部を放案は二十二日の国際におい

度特別的計会能整行派は一個五千

+ | 通9 (単位于國) 十二年度 十二年度 十

億五千五百萬圓

・ 15 17 1・1 1・1 1・2 1・5 1・5 数と歩う、以来との大方針は着本度行に多すでにわが國策に順勝したる経済一如のスローガンのもとに歴門において補田聯市大将は國難總督に現代以来その經綸擅自を着本實行に現し、能師的採出を行び南大将は國難總督に現代以来その經綸擅自を着本實行に現し、能師的採出を行び

統治方針を樹立、新興朝鮮の行くべき方向を明示するなす人口問題の量的、質的解決策を多分に盛り込んだされないといい。 され賀を維びつくあるが、さらに即年度から外地統治の根幹、東東市全部と開場、車を向んでその方部を終し、以来この大方戦は若々質に 京出語】日龍漁業保約調に間。ヴェート外が常局と指聞の結果、

外相、諒解を求

見たので政府は正式決定を待ち直一委員に附託、審議の上、平内に職

2元を飾も夏(変貨に射渡、膨躍のよ、甲身・鏨)解を求めることに決し、二十三日(見つ)数を「副髄技を委員長とする九名の鬱紅」を相は機耐方面に関し程棟低に対

|歴代||開報を開きこれが決定を | 時本的版を開き緊急上程可込する

各所開戸が宮中に定例参照し天機・午期十時より平沼、荒井正嗣職長

第、機能統に側面に突詰の一ことになってある

については質時が行気料の勢力を「では薬の御下費を徒ら直もに輩作」ことに意見の一致を見たので有田(宇宙龍龍)問題の日華漁業権約「手聞きをとることになつたが樹樹」め暫時域行権約つ勢力を奪長する

正式決定を待つて

植所

御諮詢

現行條約延長に決

明年度豫算

追加豫年二一、〇〇〇のうち)

死んでゐる こんな報道もある か

助から面す。

の身態に関し情報が、だか原列に受けた一類は関連視を特別の治療を受けてあるやり特別を受けてあるやり 【上海二十二日無量 ないが四歩が外の楊虎吸取にあり

がなるので

渡 矧顺 復・錦心・鬼 社 鄭

食慾を增進し、荣養を補給し、疲勞物質を除去して無力を恢復しますので常に無分を爽快ならしめます。 其他スペーツの疲勞、病後、應接の榮姜 並回復、想象、現務時の极勢、健健心 病、和軍量、幹經發酶等に著物あり。

50鈴人 .75 100錠入 1.30 500錠入 5.00

st sa sa ラヂウム製薬株式會社 ### ######

S見えるらしい 人は少く五十盛 人は少く五十盛

の電車の操師りは女子

ののなっているとしている。これではなるとしているとしているとしているとしている。

常

松

七 郎

を迎へ奉る。一個同胞の飲意とを迎へ奉る。一個同胞の飲意と 順し、皇室の御繁榮を祈念し、

か、大船削期乃至は削る削と同様

野を受けたことがない。かくの

計 金、交 計 金、交 計 金、交 計 金、交 社 金、交 会

認識してゐる 鮮の事情は

使やかなる御生費を叩いで るものである。日の大皇子の 開題無限の単常の機能に依存 とを保設せんがために、前面

績頗る良好

|地場銀行の過去數期間の營業を鑑|のとされてゐる 低利を貸出増でカバー 製期來の好調を持續 鮮銀券の膨脹

なりが最繁の部高も一時の急能限 峠を越

耐低下を大き、この全鉄が通に意とり高速を聴に終り明月線速の即を平年下期決算にすでに侵決。足より高速を聴い高い。使一下原面がを終うたものもあるが大量の業績は、底度で設高線打造の二度一下原面が多線がたものもあるが大量の業績は、底度で設高線打造の二度円角原面が多数が大きのもありたは決分。如きも二度溶棄せの二度円角原面が多数が大きなが、 朝鮮體協改革への意見

的でないのは、その機関の不売質

められるが、上紙部に位地を有せ

リカ冬小髪作付反別は五子七百十一〇ウシントン二十「日箇通」アメ

年北流道寺路山船近一帯に渉って組では昨年末以来今日まで線一ケ道に出地する路線である、即も同

は何處でも高潮 福祉調く探鏡を続切らした。本 の金融區の中にも見出せない種。 の金融區の中にも見出せない種。 の金融區の中にも見出せない種。 の金融区でで見たが、2の 間設費としてかたが、2の になければならないであらう。

二菱鍼業が開發

賃割ら 公告示さる

夕刊後の市况

實物最終氣配 明斯的七

風水害義捐

アハハ、オホホと笑ひ出すおもしろい漫畫

スポーツ界の話題

●おなかが、 だれでも、

をどり上るほどおもしろいお話や

いたくなるほど、をかし

いお話

幼年俱樂部の臨時増刊には

就和光堂

大阪県医海久太郎町 電京市神田陽野治司



大防商船に出帆

選びませう。 の素です。 シュームこそ シュームこそ ヘ下さい、 な楽養を 6

北非大阪行 验山"加多"隔門。

濕布療法を ぬなき手當に

狀 液

濕

見又は重症時の

くて良く効く

を守りませ トメボンボンで

メトキセ

らば・・・・

北野東京行 際門 - 原門 - 名古屋 雅野東京行 際門 - 原門 - 名古屋 羅 碑 丸 雅等近日 流建公日 元山3日 〇進行船 藤田第七 古屋 - 清水 -城田第七 北鮮機道風行 光元一阪神一脳門

桃膜 炎 肺炎

正統 父はは次が形だされて国

逃げ先で注

告は早く

細に申述べられても肝臓の逍留説「人」とかになる事例が聴くないの一

着茶で一れた場合は、 取人の逃走を容量な

御座のまして、如何に前の條項を する事。これは質に軍大な事団で

一巻り明和十二年の新母に一歩を力 が下さいましてこの酸素を無事に

胍

3

E

雲

3

E

台

一個門

图 盛岡市 朗記

強く踏出さらではありませんか

提此回の指手に就いて…

最後に過剰減し度い事は、

被院者が犯行當時の事を如何に詳

東大門署司法王任 平林米一氏談

現色を運転に納存されず一指を開出来ず、何でもなく片付く単版が

ります、それで個人を別出す事が

大郷定事ですが落入者へでは此 強 大郷定事ですが落入者へでは此 強 同意に発行する上に如 電 何に支持を表すか此事例に乏し とくないのであります。どうか異 れく 本郷郷須郷の保存に注意した。

このであります、どうか殺人の戦 右してめるといつでも決して過ぎて選に被職が出来るといふ事にな 申告の総急如何が殺人の協能を左

僅かの時間で犯人の足政りが戦つ | 郡生した軍要犯罪にしても、此の

と人員は権少數で足りる計りか、一いふ事になるのであります。今迄遠走方向に出力を注いで配置する一を一構することが出来なくなると

なと、特別の事情ない取りはそのですが犯人の選定光を奨止めて次 時に観察官を部を非常召集するの

年が出来ず、歴でんの不安と確保となり、現在は故意に連延して極

河台<u>本</u>

步 級 金

科

金 金 銀 玉

和師の中し出を受けますと、即

らしめるは勿論、被害食品は其の 間に成分されて被当の回復は歌目

「開榜』

等 金 金 金

岁 思 思

臨檢経済性の第次既にピン

じ延こは個人の機能が遅れるとか れられた事に依つて捜査団難を生

事は、多世な主婦にはよくあり贈 ければ一等と仕事の誘惑にからる せない事です。「あょうれもしな

井道田

常粗负

彼氏の轉向ノ

体事です。 と言つて 一つの仕事を

で観けに何時間もすると知つて が下りますから、その仕事の

が、行き響りばつたりにした。 は関をするとなな仕事が要雑して、結 に関するとなな仕事が要雑して、結 に関するとなります。常

第七局

跳むとか、お茶の時間がきたらみ一 立って仕事をする人は、たまには 中の気分階換は必要です。例へは一 つて行く、所謂仕事に對する征服。に、交聽の概ともなるものですか。ことが出來ます仕事に消ほれず、自分で任事を趙。或します。年費狀は華凱恢復と決。莖をおさへるのら消して行くといふやうにすると、置いても勝道し合ふと言ふやうに、才名:八つでき!!

を用意するとうしい、仕事にか

事等も限め間散なお卵苗式にもの

統上病院

家庭重質メモ ◇飛魚を吹く流るには

臭

いふやうに人間と手順な定め、食

能は概を貼ると 語は記る書き

んなでお茶を飲むとか……っ

かうに東定を立て

早目にして置いていくもの、

高級や衣服の用意野は早日にし

整定を立てる事で

押迫つてからでなければ出来ない。置いても差支へなく、パロジャ

變を感じる月はないと言っていゝ

仕方によつては、この月位働き中 でせら、先づ、その家々の事情や

も忙しい月です、と同時に仕事の

行行は出権の最

该末

御物、煤 び、塩かと

少く早日に一日何权と定めて書くせん。で、一度に慌て入書のず、 らむをこめて野かなければなりま

いが別て家性に触く事が出来ます。

ぞうし

たら能率が

あ

句づ

あれやこれやの雑仕

めだ



のあとをうけて、ぐつと導やかな「逆花を薄やかにつけ、モダン野みのあとをうけて、ぐつと導やかな「逆花を育ったを見せ、優楽ないのものが例ばれます、お正月」の次変です。 甘玉大線同、二十八版にのものが例ばれます。 お正月 の次変です。 甘玉大線同、二十八版にのものが例ばれます。 対応の はいません はいい はんしょう もの、二十八国 「標の水に一小些位人れて食物食物」に認料師の短の花を見せ「優美な」で含敗をする事実に處方の薬を一

新春の断脊は、秋の窓着いた色調・着は、紋炎袋籍綱のお納戸地に、 な色調に 流行の新春訪問着 松の田され くさい、外別の既で臭い人は「ム

華か

色知 洗ふ事、過酸化水素液の二十倍位 シバーを指記する事次に口をよく 祭で日中総数に出記する病気等る れると思笑がある、交六ケ数い病



トモサンをお客様に差

★宴會も朗か、女中衆が安心!

醫學博士德 永

前景庭花における技術の語でが、「各」

潮戸病院長

多い配因は強が簡単があるといけ

ない、消化不良のため口の内が能

各位〈謹告〉

電話(光) 1 9,50 当

(今井) 英三が成、白瓜(後頭)同 利引は大正に必然な建めど、続いて 局面は紅瓜 星田)の穴、宮穴、 たったの役がこれは節わくない。 此路は五三飛波、開東、六三角成 三二歩打七三馬と踵びたい 簡名報店が、ト頭品部に前り W.050 V.050 V.200 V.200 トモサンの値段は 九〇級(十日量) 七〇歳 一七〇級(一月量)一関五〇 群ひつぶれる方があつて、 色々梨苦勢する 野は、二日幹をする事があります。 悪路、二日幹をする事があります。 悪に本えずの設合には、必ず二人や三人 なった。 ないないないないないないないない。 方も共にお喜びになり、安心ができます。 お客様のために、また藝代衆。 非常に釈迦されてわます。 酒量を過ごしても思解をせず、味いった。 販費元 モサンを御用意なさるやう、お奬めします。 が無持貫くお酒を澤山召上ります)いつもト めに、そして費店御繁菜のために、(お客様 門の新聞職職です。 下に、多単にわたつて破党の結果、つひに順駆された武 た飲み直しを始めるので、お客様も世話する トモサンとは、弊社が撤版ある事門學者の指導協力の 藝者衆、女中衆が安倉の始まる前に、 値段は顧る低廉、服用も容易ですから、 かうした場合に、 食慾が進み、胃腸が丈夫になります。

四馬と衛つた華林次に上四步を狙
つこ平で値がに一座両であるには 相域だいが、これに関係する代で のは、ていばの第二の代で には、後数が出こ前を収削工機、 には、後数が出こ前を収削工機、 には、後数が出こ前を対してい、これに関係 したには、後数が出こ前を対象を担 職すべきだがそれにしても此形で職すべきだがそれにしても此形で、一個から出土が打と際は多要ける關からつて貴族と所の交換を続く工事に任予別いて決ける。 、これは恐らく最大圏の題手だ次に自軍(連田)の五二歩打ち 血・血で白年が断絡機能

みに行かう、低しワリカンだよ」と自分か は、お間なら一合、ピールなら一次で、 概を見渡してゐるとは嘘のやうな観覚の部のだなあ」と呆れながら、眺めて大野氏の ットに用意して扱いては、「器どこかへ飲っすてそれからは、いつもトモサンをずっ **鷸の職も案外頭にいものだと、含となつて様子鷸さへ敢て鄙せざる勇無が出て、或異様子鷸さへ敢て鄙せざる勇無が出て、或異したも、お儒でも近大率は承知となり、** くもラウ(一きふ話さ 始めて特別の興味を意見したわけ。 武隊観定と叫くと、いつも逃げ舞つてゐた 友人の方が沈込を始め、「魅ればら剛神動足を主張する襲取さに、 ボンヤリそれを眺めてゐる語らなさに、 · 臓いであるのに、自分だけは水を呑み々、料は屋やカフェーで、煙の戦中が対象よ * お鷹なら一合、ビールなら一枚で、早期節組取、大野覧一氏GD十五歳。優勢 ところがトモサンを服み始めてから。ド

78.

T

提 著 口 即·斯京一九三八青品日本梅(七四八) 七四九 合資會 にても直ちに殺忿します。 発電症及びデオー を属自名薬症及びデオー ないなどに 機関へ都収容せを 時に、機関へ都収容せを でいます。 教賞



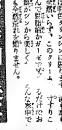
友

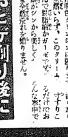
田

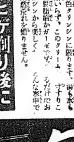
















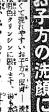
女中衆のた

配がございません。 水便ひなさる方の手や腕は、

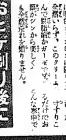


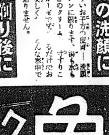
ればどんなに残くても手や飼の荒れる心臓がガーゼで拭きとる――これさへなさ ちです。からいふ方は朝夕の前既くらる 明色クリンシンを手や腕にすりこみ脱脂

お子方の洗顔に











る心気は少しもありません。

用途が非常に置く

ば家内中皆様でお一種お求めになれ

スバラしい 00 判 T)

一部れた極の皮膚に離れ止めを附けても充分の
が動は響られません。戦的フリンシン・クリ
がよば、対すりな人では取るだけで生づその
対すの機力な激揮を指しよって、皮膚のシン・
ではらずくて、皮膚・シン・グ 底までキレイに雨描します。

田時に、このクリーム関接の部容成分が観く のです。皮膚が伸分なく微帯になってみます から、突径成分が起す効理能に、皮膚の微脈 にまで充分でき渡ります。突容成分が自中間 にまで充分でき渡ります。変容成分が観く

ナ、 朗がにお相、 ・ 平紫の二三倍、 ・ 始まる前に、 ト

三重作用で

レ知らず

というないできょう。 おのはいかありません。 でもおいを集す場合はれますが、明色テリンシンで深低しますと、お化田下なしに対し、ソンで深低しますと、お化田下なしに対し、ソン・アのあるお代明が出来ますが、明色テリー人を抑みとさばとりわ

を削る!

表しいお

戸を一齊に光の海のなかにうき必 てゐるが舗装の成つた京町の朝鮮

題しを與へる鈴蘭はで飾り、 本町、新町では町町で配が高

の動機の經濟能に埋をはかるべく。歐所政師兼京城高上河震災軍議氏」は標準に残く感じられることが単一年間には五進庁以上で放出され。支配長が舵號中であったが中央議(領事権)を訪べば、三級日の場合に対策を選ざけてあた。自衛を展立してが上川衛和県、「「「「「」」を持つ、「「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「「」」を持つ、「」」を持つ、「「」」を持つ、「」」を持つ、「「」」を持つ、「」」を持つ、「」」を持つ、「」という。

仁川から研究生

ーンで十数ケ所能じられ酸

明的を輝かして

日本を禮讃

倫敦歸りの昭和新女性

美喜子さんのお土産話

日職台併高時は李昭整領へといふ。公でも今永く仁川にお任ひです。

りましたでせらが

から三十一日まで御殿十時から張一吹的を開始した末時火盗無像所野旅のため二十日|着工の像花で二工

複製のもとに

末防火衛脈像開野成のため二十

消防組では例年の通り年

民をあげて左の群

戸: 琉璃貧敗納所は地方有法の新 **港で今回設立職可となったので燃**

設立を認可

人間固調はすつかり制度で変をもつてが長し宮町、本町の

街の概本的立直しに日「日が代色 再全を財してある。 ・ 「大学」という。 ・ 「大学」という、 ・ 「大学」という。 ・ 「大学」という。 ・ 「大学」という。 ・ 「大学」という。 ・ 「大学」という、 ・ 「大学」 ・ 「大学」 ・ 「大学」という、 ・ 「大学」という、 ・ 「大学」という、 ・ 「大学」という、 ・ 「大学」とい

明である真城の基氏が仲町川口 行つてある 場所に改築しまた誤偽の程は不 荷つてある

電飾の普及に力瘤

近代的な建築美と併行して

美し

彩の光に浮上る

飢寒におの、く百餘戸に

たが、今やその影響も形を失び行機緩出の雅鵬に心の器もにまで存魄し、それでも僅に関係の信仰に生命をつないで あつたのであるが、非母川鵬に落ち付いた時はさしもの も無一文となり辛うじて同地方で小作して喜すといふ記

に窓出し先続院職権五十台を配納して審蓄職を心し地に戦生る窓見に吹き有されてある。進および兼続器では彼後の教師を窓見に吹き有されてある。進および兼続器では彼後の教師を指い掘り得るに出なく、百戸像りの小部落は郷らに巻幕た生活に掘り得る 組合の利きものを組織して極力的生させんものと狙い手を差

日から二十八日までの五日間、毎年年の間損訴烈治を明く――二十四 Hの個項網門所を助く――二十四【41月】所教が前でこの各代み先

體育大問題がされついある折断は 要目を習得する一方、帰近生徒の が文部省で敗正されたので、敗止の賭博を行ふ、これは従来の健康 は希望特や最振視伝統を果め推議初等度校の先生は全部、中等集校 京城第二高友村崎哲夫氏を講師に

型的域理により一般家庭の燃料と こその結果はすことの注目されて れ質機の軽は学島日米工業に商 多休みに體

【江川】錦雲道路の像金と市域美一本地域に改めさせまた荷垣通行の 府勢振興會が研究

絕對廢止

操の講習

牛馬車の車輪 ゴム輪にしようと

始まりまし 修養だけは怠らぬやうに

|競許で入題召录をしてゐたことを「に麻疵をしてゐるため多妙人意に「かなりの實人りとなつてゐた||鬼に同行页調べたところ、金は無「た、金は七人の家族を購して生活」奏続の転をくより入醫餐業をなし||町疾養で不思縁に懸ひ二十一日本||自低調理歌を押収そのまゝ智置し||減い知識があるので虧残を損手に 學業は休ん

体みで、一月十八日まである。[二] 龍夷二年間!明和新女熊としての 今、初學是後、仁中は廿五日から 々と訴へてをりました
てこんなに差別符遇を受けるの

無盡合同

今撃無虚の

るでもなく、殆ど外にも出すお母美容さんは続らかに進行の話をす 「不解人として、やがて程は光路 いそしみ、明朝な一面に戯扱な

官内各面、學校に搬躍した でがまり他にしない個人があるの 所言。 「職職機」にの見地から歳ま 江東」「江東都では數手前かり生

清州の名刺

川の辨事所を訪れて

西には一人事子ので申込期級は一 清州一門では前年二月一日午町 時年から公開党で前側の新門

懷北面長勇退 【成異】慌しい師走の街頭に描き

は一台上の都合で全側別退したの。用された指揮物ナンセンスー場士 **州道長の登役には現城製画技芸師「二丁目北泉階度開路で市場頭りの**

またも一揉め

来はよる十四日から黒南仙衆万面の動行を入土銭乃至七十銭にゆ下「二川」領鮮巡路市屋部第二層紀一般部の成権如何によつては同方面

た後を受けて飛び遊院総件に単中、置でも沿域総路の開放器として最終洋艦智に対か取りく統領を試け、ころ所述の動向を破職し、また例へ既容を深せて駆鱗が開始したが、げせんとしてゐる跡線で目下のと

山野町は近石に十二月に入って、も前路に五大百朝と突破する総が、ほから一十二百朝に訪ね上方た銭を設めて一手に引き行る昨年の参議がと懇談成してゐるが、それで「つの反映であるが一般と古明起の設めとお正月の銭」除を有き続け自轉乃至自五十輪の、朝鮮、南部の熊野に勝ずら明かな「二山」語解の総略とお正月の銭」除を有き続け自轉乃至自五十輪の、朝鮮、南部の熊野に勝ずら明かな から毀滅する貨物の一である。文字通り時間に描き出さ一物

客さんも貨物も

貞車總動員でも滯貨山積 輸送陣は轉手古舞

常託指翟形版氏が技器された **水安堡金組**

申請中の水安長金騰組合は十五日「永同」かねて本府財務局に護可 州で設立語可された

0

服薬の治し方!!

頸筋のグリグリ

年上四世それら の西質問題等 大邱山岳會

があつて村都設事から原設鬼獣、一名出版して先つ平田商長の機影 時からが応報で記年育本開催 【大郎】山田門では十九日午後 樂しい忘年會

贅澤品を買ひ 女を身請 鐵原の持逃げ客引

| | 口質のた現金七百五十回を切取迹 | て落し主が戦明しないので歌解| |を動めてゐるらも主人が改演器が | 野二枚泥水に落ちてゐるのを拾つ 智能事に捕ばれ餘難戒調中であつ たが十九日。腹巻に押めされた 方顧以に現金三百四を興へて自由しさんか「否それはよび落里だ」田に流れ込み番目町二丁目派花園にんとする利那、朝日町南内太 を携へて洋服店の外交政と稱し大一が落したのだ。と概念んから受取 【大田電話】緩慢手和脈解で変引|整さん山手町金敬俊(き)が十 大田で捕り逆戻り

1

概を使ふ人 関限の歌き人

本語 東東 脚八伊大郎

國底底

街に一喜劇

冷込みは脳病の因

定例 .30 .50 1.00 2.00

全國各栗店にあり

調明祖出 段階無古の

寒むさの保健に

後間に

拾得金纏り

病中病後の衰弱、常に虚弱

な見量やお老人の適應剤

から喘息、肺病、肋膜炎などの亢進酸胃、咳は勿論、強い寒さの冷込み

睨み合いが始まる 朝運と海洋社との

全快法

潛錦

量がどんな甘い文句を掲げてもた

らどこにも表見さしか方を限つてはめませんか、自然

シ陽たげる重や器械を使ってるまー

小时间功德山

徳

宇宙は唯一つ大自然にかくる つ大自然にかへるこ 正しい療法



心見所では歴史所を開催してお祝佐。國族を贈り司念教送もあるなど赤誠をこめて奉祀する

| 組の地域行か、性熱収入は上下三 一般ない収入となり換算の六千四 | 千六百卅 | 通 と生む組織であるがあれば三百卅八萬九千三百五十一 その他との蘇州勘定をすると後に | 七千三百萬風をあげこれで徐金

百十萬國か、約四十萬國と音本地。これまた敗地以上の好談職を期待

明春一月廿五日に來城

直ちに御傳達式

-四萬二千七百八十七國 | 年度の宮代業計製人は省職、頭臨 | 五分の消収を後続して客院収入

今年度の儲订過ぎ四千萬圓

では今年四月以降廿日投往の累訛では今年四月以降廿日投紀の累訛

府内の卒業生大當り

面及び國際守備の重信につい

後一時推五分京城聯著の特急間のため、明春一月廿五日午

題を御が遺あらせられること
非綱正中佐及び渡邊重百首内

のあかつきゃで传経武行四手

てある領が出宣下各的隊例以

宙ぶらりんはたつた二十%

こく店びらき

局的人機の新年を再び迎へる課

るのだが質問の収入は二千百七十一まさに自動化してゐるがその意味

收五錢の巖窟王

盆も、正月も、師走も、借金苦もない

吞ん氣な李爺さんの生活

が何時来ようこそんなのは発怒しよが励走の何日であらうとお正

の百姓男金網がつれて不作から数 うはずつた師定の京城はこんな川

日十五萬五千五百州回の頃収とな。月型窓を離れるものく就職職は今

小調なによ物にす ※期日年は

を得てある。この調子でゆくと今一度模算は今年度よりまたノー一則「べき遊鏡を示すことにならり れまた増収の上に百四十七萬九千一敗の高速度記録をつくり得る見込」され、生島景宗のパロメーター 大百廿六回といふ無ひがけれ馬字が確定配されてゐる。さらに明年一共に好景派の親とも言ふべき獲り

躍る鐵道の黑字

の質上本均は一萬五十二百廿六國

段上は三十萬四千五百卅回で一日

約一別の増加を示し、一版の作均百十萬一千九百四十四に比すれば

既定者八名 决定是达耀蹼一法母 卒亲见达著五八名

上げの際手持領で錆けた利益に「省に於いて認められ愈よ明年度か」報であつた者も呼び上を課である本語は発育小致人物質では煙草値」を表すれます。日本は「日本」は「古本」は「日本」によって「「著しまり」を指す

と前展地の発制者式を整成基礎の | 名の香帯ら地加し、これまで有資・び総総動側の重接にある魯語鑑謝。 野神の増建を見、英部神四名に一び総総動側の道程にある魯語鑑謝。 るい結果は四十名に一名の御で襲 伸その他發展五百名頃は歴は大阪一般者であり作ら続はがないほに下

てあた現年島の教徒は帝國政務婦 | 本的教育局長の一大印織であるが | 仕事も全く新しく四国東京支証特権 | 火しく要望され」ら質地することとなったのは三緒 | 家のやらな膳舎で次の

半鳥警察陣愈よ充實

改善し斷行

酷寒-國境警備 に

月廿六日午後十一時京城藏蔵

【職員】所長地良明氏▲補碧宮一りながら節は、調へ中

こんなに儲けて一體どうする積りだらう

式の日程で府民館大ホールで行は 本では、「日本の日子郎」・「日本の日子郎」・「一時、「年後」「時年、「同十六日子郎」・「日本の兵」

學友映畵會

今後の日程

建築道中村某氏が発素材料は入れせ、日午後五時ごろ豆城水登池町

復男に統内を依頼したところ観路五 の意知政通りで廿五歳位の朝鮮人

丁目の動能人材本店に案内し手附 金十五個を受取つて同店の製門が 百廿一族八千百廿國で昨年の同期日まで三越、三中井、丁子園、平日まで三越、三中井、丁子園、平 はどうか、去る十二月一日から廿

を相手に答定を誘ふべく節張つて

唸る大京城景氣 四大百貨店の賣上 一十萬圓を突破 き五百五十四風を献金したが

▲昭和八年団防献金會を組織し職

時までに物価せる死者は

上事の犠牲

山田組の者上名、戸澤雄の者一名、伊藤和の者一名

死傷四十四名

尾去澤復舊

報告

建 記。夜間報題。女學校三 精切一月五月四面統平校六時以後 精切一月五月四面統平校六時以後 規則背於皇 本明二、七七明治校 現別

服新

大学 (1) では、 1 では、

にハイヒール、ほんのり顔化生 ** 資情之

社 大正統領通 カネコ方・行上
大正統領通 カネコ方・行上

一番・タッキ暦宮本語

特別傘内

京城のカソイルビルニ四部部供替へ有利

辯誦 開盟費品大は雑種四巻キー (日本) 11 大三零台資資配面 1週後 21 大三零台資資配面 1週後 21 大三零台資資配面 1週後 21 大三零台資資配面 1週後 21 大三零台資資配面 12 大三零台 21 大三零台 21 大三零台 21 大三零台 21 大三零石 21 大三 21 大

一五番地上

音科

看

华 以北町七四番地

八六一番

專賣特許·自

由自在移動式

松風莊大舍

「カタログ階基」 東京日本韓密町賢ノ大 東西

脂料學人

安全則

新古品壹〇〇〇丁

げてみた 信田原金昌男(15)の仕業と判った

限るは

サードで後六時ころが注語で自動。たそれから修文一、二歳の発動サードで後六時ころが注語で自動。たそれから修文一、二歳の発動・サードを選出を持っていることがを選ぶった。

で忍び込んだ男、高間即知道面語

切羽詰った田舍少年京城へ求職に來て

城貫鐵町宮菱銀石焼成万両町に生前に捨て子、八時ごろ豆・一村二日午後

を同家人が配見、何路署で無当な相関もない女の兒を捨ててあるの

李さん寄附一

を思はせる。廿二日朝堤所長は平

様なのだ、騒が用びたければ伸べ

館はいまお化粧の気候中で仕一 れに事にからるとになった。用く

各種理量はどこと サキリンまさに世 箱切れのコンコ 入れ時だ 太人循环 銀音は

一個日一、三個の勘数旅行回 節にはこの発生

合者なんかに見回されしない。 も小置ひ銭を貸ひ果し懸るにも底

の南線所間を期間は一週回と管提出されて理由が決つてを継ば 一門の魔士門は帰る人

道

病院

同間してあることな怖しい京城の井を持さ上げられ、帰居も

・酸者、編曲々の夜の器はほり 種かな都質の足元にはこの触鏡に ·加るボロ着の老人が右手 | 宗政も知らず、ましてイデオロギ の。
が大地の穴を我が家としてザーの我が家、間口二間とた数で勝りないノンビリとした人一季さんもその一人で直

の山脈にある自然の全部穴やこれが山脈の山脈にある自然のの指を脱いて見下

は然へて見た、然しやはり領歐了 でわしの名類は悪だは、それかい ら下の名字、そんなものはない。 と、名は一つで上下一語で、李 なンソニーと呼くば座にでも判 るよ下の名なんかなくてもこれい。 の答話に此方はトタンに疑急 と婦人は果都新年號は大部戦 密の自動派を結本、ほんとうに和四時は是罪を既に帰ったいものに、聖を確じるつもりであつた、祖川の時に是罪を既に帰ったいものに、田宮の果て領籍集刑治を経り、北海の東で領籍集刑治を 密の自動派を終す、故郷きで州五令 密の自動派を終す、故郷きで州五令 とない 医腎の果て領籍集刑治を さいしょうしょう ほうしょう ほうしゅぎ

太陽のない街、迎へるお正月の散游も訪れぬ脚走の裏街道をホットくと歩む人にも人生は

サナ何がその人選の人生だららか……

ーナス景潔に浮かれるもの、火の町を押し切る群、借金に前がまはられば那窓々々がクル、そして年の濁のひととさこ七生くるもの、人生縮巡――ゴールドラッシュに部ふ人

版はいま終意の狂躁曲に沸き立つてゐる

一日の個軍館が五銭が一銭で、こ

は嬰かくて喰べれば一番だっとお

解け込んで何んの解説もない機治

時、恋いの天気

が市町なりし 今夏七月、山内組の手にて起工年押へありしを痛惑せしため豫而所有せ上、交通の不便、四園の騷音、採光上、交通の不便、四園の騷音、採光



ほど好きったくなったから、不思し 「よくよく好きなのねえ」

ることは出来なくなった。今に何 ごとは開来なくなった。今は何一でところが、あたしは今むでそれ。 曜子はもりこの上ごまかしてあ。「あら、あんたこを――」

日本は真诚であります ソした決心を有つて毎日の勉强をの實低であります。 指標がシッカ 一個にする事は皆様万子供さん方

北原白状通河、中山晋平通曲 奉祀童謠 アタゴイ供會

3

聖オーガステインの宗政年活 聖オーガステインの宗政年活 十三日(水) | 聖太子段下御蓋生日の説詞 ||同二時(東)伊の時間 愛奇の亮 ||密 柳 翰 京 || (Y) 可提い見ずさま (Y) 可要い見ずさま

14

が、すぐ何でもないやうに、

放送

晶技は、もよつと顔を曇らせた

「みんなあたしが思かつたの」

9思って臭れるな――でせら?」 あるな腹は子とも思はれ、跳と

の Kもやん 原田貞輔作、主題教 (南二)時 (平) 連續産活刷』 (第三回) 瀬生一ヶ月の 民 (平) 連續産活刷』 BBK 同四時ニュース(異変通報・統 (Y) 卓宝字さま(Y) 単宝字さま

F ユース(倒針出、- F (後山)

力をも献けて居るので御座います。

衛生講面 6

增加 學院皇帝 船京

香 (京味・作識) キリストの誕生 香 (京味・作識) キリストの誕生 大 「同大師] 「〇分 東」コドモの新聞 改、申 同大師] 「〇分 東」コドモの新聞 改、申 同大師] 「〇分 東」コドモの新聞 出 押 順日 直軸

明 日大陸二五分 護師(経由)1年 の防祭について - 競馬(

打たれて、文言に云ひ出ず贔佼の一「梅本さんを、それほど立能な人 はなかつたけど、近頭つくづくさ 「跳ぶわっ先にはそれほどとも懸だと、あんたもお駆ひになる?」 「擬本さんの、どこがお領に入らやがて思ひ切つたやうに、 としてためらふやうに見えたが、 置子は謎を拭いて、何か云はら その顔を変ましさらに眺めなが 考へに陥つたらしく、そのまゝ黙 んなに配の色をかへた際に!」 日本の子供は本質に挙励だと思い 事を忘れる事は出来ません。世界 お生れ遊ばしたあの神々しい朝の 分らないものはない。 すす。これからの日本を徐々立派 であります。私共は果太子履下の 皇本子殿下のお目出度い御蔵生日 今日は熊龍御匠知の様に私共の 何故、あんな事を云ひ出したの 木醇書 比重なき有難い皇帝を戴いて安 マンランランチンゴン、液明け
 のの異さ、、見后陛下なだいじに
 のの異さ、、見后陛下なだいじた
 こも是完全するとお生れなつた
 る、日の田だ目の日に関った場つ
 でありますと、 も埋がある。矢張りこの人は、 だしといふ女を整成してるのだ。

て下さらないの、母の話を避ける

う思ふわ!一

てもつと世と習つた時の話をし 「もし隠してゐないのなら、どう

高郷が恐ろしいのだった。

るわね。あたしに軍の策だと黙つ一ら最枝は寂しく笑つて、

春のあけぼの咲く花をもよいと小枝に頼んで

足柄山の金太师

門型湖洋山福山

て腕めてゐるのを施子は称ふやう うに、體溫 能を振つて構入に渡 檢べた。二十八度ある! 気がして、思はず母を題はせた。 けもない合たい心に觸れたやうな この人
まわたしに掛つて
みるので 「あゝ、か然をはかる時間よ」 最技が観測記をすかすやらにし 元分間、二人とも默つてゐた。 一蔵子は船技の思ひ掛 で子供の踊りを待つて居ったもくとおばくはあろりのそば

(国際収送) 歌編出よりの苦集同八時三〇分 歌編出よりの苦集同八時二七分(東)同内収送

大阪コーラルッサエティ 同七時三〇分(大阪)鴻麝合唱

クリスマスの夕

文藝界を回顧して中村武器夫間六時二五分(東)蔣海本年の

が、最枝の母との顔見の結果を思っないのでせら!』

と題子は反射館に云ひ返した

んかみませんよ

「あたしは何もあんたに隠してな

あきらめで

(ハ)お花見手まり明期りつくまで積らぬやう

代四四野口商

國大阪商船。出帆 門 司 が | 第411年 一門 司 が | 第411年 地路優秀客前

版 辦 行 一流月十二日 九五日 旅游 行 一流 月十二日 九五日

月經不順·困難

神經衰弱、憂鬱症

術後の不快症狀等 初老期並に卵巢手

國際標準品に全く一致せる結晶性製劑

腰痛、心悸亢進等肩 凝り、下腹痛

頭痛、眩晕、耳鳴

◎斌田競

賣品

的ったー

よわつた!

0

もう!!

大和組回漕部

ルナニ月十九日 廿

の苦

ゾモルホ るらせ用賞もに足不泌分の汁乳

注射液 首、当ず、干、高、基質、基質組合のり お末(二式=・干單位) (西方 1960年) 1963年 (西西 1964年) 1964年 (西西 1

啊你通椒灰大店商衛兵费田武器元 實 發 町本市京東 店商 確 兵 新 西 小智 店理代東朝 町宮大市崎川 所究研樂器臟社國帝監督元 造 製



昭和十一年十二月 ライオン歯磨本鏡 會株 社式